

134
5
800

明治廿二年六月

生涯の事業と撰ふ事

江藤書店

020742-000-1

特16-419

生涯の事業を選ぶ事

デホレスト/著

M22

ABI-0562



No. 17811/22



生涯の事業を撰ぶ事

緒言

左に記載する二篇の説教は其大眼目とする所只一にして即ち一個人生涯の事業を題とし第一篇は之を實行的より論じ第二篇は之を理學的より論ぜしものあり、

現今日本新教徒の數殆んど三万人にして此内十六歳より二十六歳迄の青年の數余の計算する所に因れば少くとも五千人に下らず思ふに此れ等多くは未だ或は一生の事業と神の聖旨の關係を深く考へざる者あらん余が二篇の説教を綴れる所以蓋し自ら基督の兵卒と稱する青年の大軍を裨益せんためなり誰か此れ



を熟讀して一生の高尙ある思想を奮起することあら
ば唯神に感謝するの外なきなり、

在仙臺米國宣教師 デホレスト

爾我を世に遺し、如くわれも彼等を世に遺せり
無益の緒言を要せずして直ちに本題の深意を研究せんに
全節の要理は他なし世の人誰か全能全智の神よりして此
世に遺はされざる者あらん然して其遺はされたるは其預
め定めたる一事業を成就せしめんためなり故に此事業は
如何なるやを索ね且之を務めおぼは生涯の事業に成效を來
し之に反せば大なる失敗を取事明かあり
世上の人誰か一事を企つる時に當て成功を希望せざる者
あらん其仇敵に復讐を試むる野蠻人も種時く農夫も商人、

士卒、學者、説教者に至るまで其心裡より、成功を願はざるは
なし余と雖も若し此國語に通達し基督の眞理を諸君に傳
ふる事を臨まざれば本國を去つて海外に渡航せざりしな
らん又此問題に付き仙臺、京都、大坂にて説教せしも諸君に
事業成功上高尙の思想を告んことを欲せばあり縱令一身
を擲つと雖ども成功尙ほ慕ふべし彼の有名あるウルフ將
軍はクベツキの大戦争に三度負傷したれども勝利は己の
味方にある事を聞くや否や喜び勇み神は讚むべき哉我は
平和に死すと言ひ終つて呼吸は斷へたり
然りと雖ども諸君活眼を開きて社會の實情を觀察せよ實
業上成功を奏する者幾許かある儘々指を屈するのみたど
へばニューヨーク府の商人中失敗を取る者十に九半あり或

は株金を損失し或ひは破損し或ひは一朝に驕奢を極め夕
に貧困に死する者あり借財に責められ不良の所業をなし
牢獄に繋がれ人に擯斥せらるゝ者あり又中年及び青年の
現在を見よ波に漂はざるゝ薬の如く一定の目的もなく商
業を試み學問を求め官吏たらん事を願ひ中途にして志を
變じ遂に一も取らず二も取らず懶惰に光陰を送るものそ
の數をしらざるなり豈耻辱の至りにあらずや或は云はん
吾は官吏なり然れ共之を好まず吾は教師たり然れ共之を
厭ふと斯る人は成功を見んと欲するも豈得べけんや
殊に青年書生社會を見よ未だ丁年に達せざるに既に失敗
の言云はずして自づから多くの人の顔に顯るゝを見る或
は境遇僥倖に由て一事一業を成さんと欲するもの或は失

望を來し苦辛困難罪惡悲歎に露間の生命を終る老幼男女
幾許かある嗚呼悲ひかな斯る生涯は只失敗の一語を以て
評するを得るか抑々斯る弊害の原因は何くにあるや他なし吾人各々一定
の事業を成就せんために神より遣はされしことを知らざ
るに由るあり余大に恐る基督信者と雖も屢々此眞理を忘
れ神の聖旨祝福を祈らずして一生の目的を自決する者多
からんことを今や基督教主義の學校或ひは教會に於て吾
は醫師となり吾は官吏となり或は著述家、教師、商業家とあ
らんと自稱して先づ聖旨を求め神の攝理を究め一生の方
向を決定すべきを忘却する者あるを恐るゝなり
信徒不信徒を論ぜず此點に付て思考を要する者多からん

此故に余は諸君に向ひ簡単に生涯成業の奥義を見る方法を左に論べんとす

第一 吾人は皆神より此世に遣はされたる事を記臆すべし

人は皆神に造られ智徳の性を授與せられたるは偶然にあらざるなり譬へば預言者エレミヤの書の一章四節五節を見よ

主に汝を識り其孕内より出でざる先きに汝を清め異邦の預言者と定めたりと縦令エレミヤ成人して智力の發達する

後にあらずんば神の大目的を了知すること能はずと雖も主は彼の生前に既に將來を悉く識り玉へり而して一生の

事業如何を聞くや否や其責任の重大なるに驚くと雖も神

命之れ從ひエレミヤは四十年の間政治家及び預言者の職務を盡し遂に本國の滅亡するを目標したり

斯の如く全能の神は諸君の前途を生前に識り玉ひ知らず識らず五官の作用を以て神は諸君の腦髓を發育し吾彼を

知らずとも彼は吾を識り日夜忘るゝことなく一笑一叫彼の

の耳に達し遂に造物者の吾人を世に遣はしたる大眞理を學ぶに至らしむ余は諸君に只一例を示すのみ試にアブラ

ハムヨセフモーセダビデ及び預言者等の傳又イエスヨハ

子パウロの生涯を一讀せよ必ずや諸君は神の諸君を此世に遣りて三十年或ひは五十年或ひは八十年の間働きをなさしむる目的あるを知得せらるべし豈偶然に此世に生るゝものならんや

第二に神の各々に與ふる事業は各個特別にして決して同
一に非ざる事を記すべし
諸君若し物理学を研究せられたらんに宇宙間決して二個
の同物跡をいふ一原理を見らるゝならん或ひは疑問
を生じ此所に二個の松葉あり同形にあらざや又塵埃も鑽
物も二塊相同じきを見るに非ずやと有名あるライプニッツ
云へるあり否な二本の松葉と雖も全く相等しきにあらざ
幾百萬の人類中一人として顔貌の相異らざるは亦又容
貌の異なる如く思想をも異にせり歴史上の事實と雖も前後
相同じきこと未だあらざるあり神は各々に特別無二の符
號を與へ玉へりと
然らば我等縦令默示の教ゆる所なしと雖も各々必適した

る働きを有し若し之れを誤らば應分の喜樂を損し無限の
失望を收獲するや必せり神は此世に種々様々の人を遣し
玉へは又分業も甚だ夥し或は軍人に身を供するあり譬へ
ば二千五百年以前ヘルシヤ大王サイロスは西部亞細亞を
征服して一大強國となしエダヤ人をして自由の地に恢復
せしめたり素より彼は神の旨も其目的も知らずと雖も神
は彼を識りイザヤの口を以て曰はしめしことあり汝の吾
を知らざる時に吾汝に異名を與へたりと夫れ此世に於て
不正不義の行はるゝ間は神は必ず軍人を遣はして以て惡
人罪業を滅亡せしむ彼の二年前に死せしゴルドン將軍の
如き神は己を軍人に召し玉ひしことを深く信じ如何に登
官の恩命を蒙むると雖ども敢て之を辭し殘暴詐偽と戰ふ

を以て己れの目的とせりワシントン
 の如きも神旨軍人たらしむるに
 あるを信ずるにや進軍前には必ず
 神に祈ることを怠ることなかりき
 斯の如く神の吾人を世に遣すや
 其應分の働らきを成就せしめん
 爲なり或ひは政治家たり或ひは
 代官師たり醫者たり農業たり
 職工たり兵士たり萬人個々格別
 一定の事業を爲し甲は乙の爲す
 所を遂ぐる能はず乙も亦甲の働
 きを爲す能はざるなり

第三 然らば吾人の爲すべき事
 は各々先づ神の吾人を此世に
 遣はしたるは如何なる事業を爲
 さんとせんか爲さしめんか爲
 するにあり

之れ尤も必用なる點にして多數
 の過ち正に此一點にあり

諸君は生涯の事業を決定するに當
 つて自決することなく先づ神に祈
 り其主旨を求むることを務めし
 や恐らく諸君は先づ自から定めて
 後に神の祝福を祈願せられしなら
 んを此れ西諺の馬前に車輪を付す
 るの謂に異ならず諸君の爲す所順
 序相戻る若し第一に神の定め玉
 へる旨を考究せずんば縦令一生
 を勞するとも終始夥多の過失を招
 くや必ずり獨一無比の正道はパウ
 ロの爲せし如し彼れ基督を神の子
 なりと信ぜし時云へるあり曰く主
 よ我に何を爲しめんと爲給ふやと
 彼れ己れの前業は神の旨に違ふを
 知り己れを捨てし神の定め玉ひし
 働きを喜び奉戴したり故に神は彼
 れを後世の誠鑑とあせり彼れの胆
 勇堪忍慈愛生死悉く後世の人心
 を感動せしむ彼のフニエーの如き
 有名なる

法學士にして合衆國政府の高官に昇り或は大統領たるの望ありながら基督の救世主たるを信ずるや否や斷然志を決し神旨は説教にあるを信じて之に一生を委ねたり故に府邑より僻村に至るまで人心を感動し遂にオベリン大學を設立するに至れり今日其學校を出る者或ひは支那日本にあり或ひは本國にありて主基督の爲に働くを見るにあらずや又ムーデー氏の如き一生商業に従事してチカゴ府の爲に益する所あるも一度神旨の導を感ずるや否や斷然志を轉じて傳道師となれり見よ今日其結果を見よ歐米大都會の招待を受け數千人を滿たす演場と雖も立錫の地亦く貴賤智愚の別亦く争ふて彼れの説教を聞き且之れ等の説教は皆歐亞諸國の言語に譯せられ夥多の人々を裨益する

にあらざや又盛ありと謂つべし此パウロの如きフニョーの如き又ムーデーの如き神は豫め彼等を識り玉ひ各々其一定の事業を成就せん爲に世に遣はし玉ひしこと明かあり斯の如き人々は心の變動すること亦く偶然の利を望むことなく利己主義を志すこと亦くして神賦の事業に盡力したるを以て眞に成功を見るを得たり之を成業の與義と謂つべし然らば諸君は天賦の事業を務めらるゝや果して然らば貧富貴賤を論ぜず名望あるも藐視せらるゝも必ずや勝を全ふするを得べしパウロは石にて打たれ半獄に繋がれ鞭うたれ遂ひに殺害せられたるにあらざや人或ひは之を稱して愚昧の所爲とせん又多才多能を無益に損失せりと云はん然れ共神はパウロの

事業に成功の二字を彫刻せり又自から死に臨んでいへる
 わり我己てに善戦を戦ひ既に馳るべき途程を盡せり今よ
 り後義の冕わがために備へわりと
 尙ほ進んで基督の生涯を見よ其三年の働きの間暫らく人
 望を得て一時はユダヤ國王と爲さんとするに至りたるも
 此世の權威名望を拒絶するや否や祭司學者に至るまで彼
 れを惡み遂に相謀りて十字架に釘たり思ふにピラトより
 庶人及び徒弟等に至るまで基督の事業は失敗に外ならず
 と信ぜしならん然しなから彼れは十字架の上より我が事
 成れりと呼はり玉へり又其死に先だちて曰へるあり我が事
 の我に與へ給ひし事を成就せりと嗚呼美なる哉誰か死に
 臨んで一生の事業を省み此語を發する者あるや

或人間はん何故に基督はエルサレムに上りたるや若し死
 を前知したらんには何ぞ歐洲或ひは東國に赴かざりしや
 若し歐洲又は東國に赴きしならば多くの歲月諸國を遍歴
 して其教を傳播するを得たりしあるべしと之に答ふるに
 は基督の語を以て足れりとす曰く我は汝の我に與へ玉ひ
 し働きを成就せりと此十字架の死は基督生涯中尤貴重な
 る事にして此に至つて此働きの頂上に達したりといふべ
 し若し此死なくんばイエスは凡ての人に代りて死を嘗め
 たりと書し又多くの人の代りて其生命を予へ其贖となら
 ん爲めなりと録することあらざるべし
 斯の如く神の諸君に賦與する事業に於ても必ずや種々の
 困難あらん此障碍を打破つて始めて一事を成就すべし故

に冕を得んと欲せば先づ十字架を負はずんばあるべからず人は困難を経ずして天國に入ること能はざる一大法則を忘れ貧苦疾病に侵され或ひは朋友の反する所となる時は直ちに疑念を生ずる少なきにわらず然れ共凡ての障害は吾人の勇氣、耐忍、信仰を鍛練するものなれば先づ神の諸君を世に遣はしたるは何の爲めあるやを確かに究め心を失ふこと勿れ

第四 今此數葉を讀むに方つて或は問ふ者あらん神の吾に備へ玉ふ事業は何れにありやと余惟ふに之れは自己の謹んで考ふべきことにして父母、良友、牧師の如き忠言助語を與ふと雖も結局の斷定は只己と神の間にあり醫たり農たり士卒たり教師たり商賈たり各々其職分ありて他人の喙を

容るゝと能はずと雖も余が此歲月胸裏に滿ち祈に顯はるゝ處の一念は他あし今日日本同胞三千九百萬の人々に對して尤も緊要あるは基督敎者より急なるはなし造物者は万民を愛する天父なり基督は無二の救世主なり福音を傳へんため父の遣はす所とあり其弟子に告ぐるに稼主の工人を收稼場に送らんことを願ふを以てし又終りに弟子等に命じて萬國に福音を宣傳ふることを告げ世々限りなく彼らと常に偕に在ることを約し王へり果して然らば今や多くの青年諸君等神の聖聲の福音を我國の中至る所に傳ふるこそ急務なれ現今天國の來ること遅きを見よ年々僅かに五千人或ひは一萬人の信者を得るのみ是の如んば全國を神の御國となさんには三千九百年を要すべ

七歐洲及び亞非利加之北部を基督教國と爲すに三百年を
 出ずして事成りたるに非ずや然らば日本をして純粹ある
 徳義を慕ひ基督の眞理を奉ずるに至らしむる豈三十年を
 要すべけんや誰か此大業に従事するや吾が神學校は已に
 百餘人の牧師二百餘人の傳道師を派遣せしも尙ほ足らず
 諸君よ活眼を開きて見よ多くの青年は或ひは法律或ひは
 醫學に海陸軍に文學に政事に各々孜孜汲々たれども全力
 全身を盡し智情意の協働を要する大業即ちはち全國をして
 正義を慕ふ天國とあす重業を採る者僅々指を屈するのみ
 嗚呼田畝は白く收穫時に成れり只々尤も急要とする處は
 イザヤエレミヤの如き預言者ありパウロペテロの如き使
 徒ありオーゴスチンパスカルの如き理學者ありフヒンニ

「の如き法學者ありムーデーの如き商人ありヒイチヨル
 プルツクスの如き説教者あり其他千百の教師等ありて力
 に應じ分に處して主の榮光の爲めに働くことなり之れ身
 靈を犠牲となし眞理を愛し世の名望利達を糞土の如くに
 し神よりの褒美を望んで働かん爲め世に遣はされたる青
 年婦女の必要なる所以あり
 余恐る諸君或ひはヨナの如く神の命を奉ぜずして反對の
 方向を取る者あらんを若し然らば或ひは一時の境遇にて
 暫らく成功を奏するも審判の日に於て善且つ忠なる僕よ
 ど願語を受くるを得ず願くは諸君各々誠實の祈禱と親友
 の忠告と聖書の教示に由て神の諸君に與へ玉ひし事業如
 何を先づ考求して後に精神を盡し神の旨を行ふに従事せ

よ世の苦も耻も厭ふに足らず斯くて成功の奥義を知れり
と謂つべきなり

主よ吾れに何を爲さしめんとし給ふや

如何にして吾れは生涯の事業を見出すべきやとは稀有の
問題にして通常人々の稱する所は見出し出すべきやといふ
擇となし何を以て吾が一生の事業と撰定すべきやといふ
にあり斯く自稱する人々は既に生涯の春に於て誤謬に陷
るの恐れあり蓋し自から智ありと思ひ將來を撰定する特
権ある主人と自得すればなり然りと雖ども若し青年にし
て己れは一事業を成さんが爲め此世に遣はされたること
を知りこれが爲め神より身心の能力を賦與せられ成功は
唯神の授け玉ふ所なるを信ずる者は最早何を吾は撰ぶべ

きやと云はず只謂ふ如何にして吾に神賦の業を見出すべ

此大問題に答ふるに誰か他人に對し確乎不拔の言を呈す
るを得んや只默示哲學經驗に基きたる定法を置き各々之
を自己に應用するにあり、

今此定法に論及するに先ち一言の謂ふべきあり抑も此問
題を考究することは青年の大幸にして先づ智力を博くし
徳力を深くする他の及ぶ所にあらず又彼をして遙かに眞
理の佳境に入らしめ自から全智全能の神と共に働く召を
蒙むるを感じ自重自任するに至らしむ青年にして此經驗
の必用なる蓋し利己主義より遠ざかり進んで人生義務と
眞神永生の關係を慮らしむ斯く深思遠慮して后果して政

治家たらしめば其人宜しく口を開き筆を採り國家をして醜惡汚穢を避け善良優美に教導することこそ大切なれ凡て神に事へざる王國は滅ぶべしと(イザヤ書六十ノ十二)吾儕信ずればありまた神果して商業家たらしめば其人宜しく努力して誦詐を責め聖日の濱されざらんことを務め基督教主義の學校を設立し基督の福音を傳播せしめん爲に説教者を派遣するため應分の力を添ふべきなり又神果して教育事業に召し玉は、其人宜しく各兒の心靈上の幸福を祈り高尚なる徳義と純全ある言行の必用あるを教ゆるを以て喜びとすべし又或は詩歌に従事するとせんか其人宜しく全心全力を抛ち以て國家を感動し民心を高尚からしむる歌を編製すべし其他筋力智力を要する働きたるや

神を信じ神の子基督を奉じ復活の榮來世の幸を望む正實なる人々の従事すること尤も要する所なり、
 第一 一生の事業を究求する第一法 神は徳義的秩序調和の組織範圍に各個の事業を賦與す、各々位置の異なる如くその事業も亦特別なる故に豫定の地位を離れ他の事を試むるに當つてや直ちに秩序を錯亂して次第に甚しからしむ國家の政治に於ける工場に分業に於ける漁船の運轉に於ける各々依託されたる働ありて之に注意すべきに若し他人の爲す所を爲さば如何千種万狀の不都合を生じ損耗を醸すや明かあり此世界も亦神の一大職工場にして智を要し能力を要する働無究にして人各々定まりたる區域に於て定まりたる職務を有す故に吾人の爲す所此れと異なる

れば如何に熱心堪忍以て働くと雖ども其結果は只州木禾稿は終りの日に於て焼かるべし(哥林多前書三十二―十五)社會の現状を見よ己れの區域を離れ失望悲歎を以て働高尙の目的なく眞正の快樂を有せざるもの其數を知らず凡て不正不義の商賈私慾主義の生涯は社會に錯雜混亂を來す者なり罪惡を地より拂ひ天國の清良平和信愛を來さんとするには人々悉く神より賦與せられたる事業を爲さざるべからず斯く論じ來れば論者云はん意志の自由とは何ぞや吾人は選擇の自由あるにわらずや然るに神万事を前知豫定せりとせば吾人の自由は何れにあるやと禁酒會演說者ツヨン、ガウ言へるあり神企と人意は大與義にして人智未到の地を侵すといふべし而して余の結着したる所

は他なし即ち余の大目的は今に於て全く識り能はざる事も終始を知り玉ふ神の好み玉ふ時に於て識らせらるゝを信じ單に吾が意を神に歸服し完全ある調和を計るにありと請ふ理學上の問題に迷はざるゝ勿れ吾人は只命數的の動物にわらずして吾が選擇は徳義性を含み故に責任を有するを知るべし尤も貴重なる自由は神に事ふるにあり彼れは始終を了知し玉へば各々の爲めに至善の事業如何は吾人に勝りて明らかになり玉へばなり

第二法 神は彼れに従ふ者をして外圍の狀態と内心の經驗を以て生涯の事業を指揮す、若し靜かに既往の生涯を省みるとき其人を見るべし神は千種万狀の情態を以つて或ひは誕生、言語、家族の薰陶、教育或ひは貧富強弱、危急存亡、

或ひは山川の風景、宇宙の万象により吾れを今日に導きし
 ことを、只此れのみには止まらず外物より來る所の無數の内
 感心狀皆吾をして現世のみみならず來世の榮えを望ましむ
 神の導き各事各狀に顯はる神の慈愛保護は頭髪みち數へ
 られ又神の許しなくば一羽の雀の地に落ることなきが如
 くば况んや不朽の靈魂ある人間の一生の事業に於てをや
 全智の神必之を預備したまへり然りと雖ども青年等或
 ひは短慮にして二十年の時日の間神は種々の導きにより
 主に従ひ生涯の事業を思慮するに至らしめたることを忘
 るゝあり而してパウロモ一ゼの經驗の如きに至る特別稀
 有にして實に欽慕すべきこととの如く思考するに至る故に
 此の第二法を重複するの必用あるを覺ゆ曰く神の吾人生

涯の事業を内部の經驗と外圍の狀態に基づきて定めしむ
 パウロモ一ゼも此の法外に出でざるなり例へばパウロ
 が主を見たるの一事を思へ決して彼れが既往の生涯に無
 關係ありといふべからず彼れれ救世主に關する舊約の預
 言を知らざりしか亦使徒行傳七章に掲ぐるステパノの實
 に熱心ある説教を聞かざりしか又其死するに至つてや苦
 痛を忘れ其顔の喜を以て輝き吾れ天開け人の子神の右に
 坐するを見るも云ひしを目撃せざりしやパウロの如き熱
 心に舊約を信する者にしてステパノの言と死とを容易に
 忘るゝを得んや思ふに之れ大ひに心に感動を與へ日夜熟
 考したるに相違なかるべし故に主の光彼れを繞り照らし
 汝あんぞ吾をせむるやと問ひ玉ひし時直ちに心を主の前

に卑くし官位も犠牲とし基督の爲めには生命をも惜まざるの決心をなせり之に因て之を觀れば主の現はれたる事のパウロが既往の内情實に基けるものにして實に彼にのみ適當したるの事と謂つべし主の光天より輝ける時吾等パウロと共にあるとも主を見その聲を聞くこと能はざりしならんパウロの同伴人と雖ども神語を聞くこと能はず榮えの主を見ること能はざりし、

此の如く三千年以前のモイゼに於けるも亦然り彼の出埃及記の三章にある火焰の森と神の言語の只理外稀有の事實にあらざりして既往の經驗と直接の關係ありモイゼの四十年の間埃及の宮中にあり祭司且國王たるの教育を受け又四十年の間シナイ山に牧羊を事とし日夜間斷なく晝の

山間幽谷に伏し夜の星辰燦々たるを仰ぎ深く考へを神の事に注ぎ殊にイスラエル人を救出すことを慮れる故に多年の教育と熟考とにより心靈上の火焰を見神語を聞くことを得たり若し吾ら彼の側にありとせんか只見るものは「アカシア」木とその赤葉のみ聞くものは只風の木葉に囀くのみならん蓋し斯る絶妙なる經驗の八十年間の準備に基くものにして不思議にあらざるなり、

此れ青年たるもの、熟考を要するの點なり神吾人に生涯の事業を示さんには圍繞の狀態家族朋友教育等の影響を以てし加ふるに心靈上の經驗感化に由り多少外狀を變更するとあるべし、

第三法

- 一事
- 一物
- 皆深
- く神意の存するあり之に由りて吾

人を導き神の旨を知るに至らしむ、日々吾人の實驗する
 所深き意その内にありと雖も殊に此れは彼れに比して
 尊重する所以神の特別なる導なればありフレドリック、ロ
 ポルトソンの生涯記を一讀せられし人の知らるゝならん
 彼れ陸軍士官たる宿望を捨て、英國著名の説教家となり
 たる一原因は犬の吼ゆるにありと之れ細事ならずや然れ
 共之によりて一人の病弱なる婦人に親密なるに至らしめ
 又その婦人の故にて他の一友と交はるに至りしが彼れの
 感化力遂にポルトソンをして説教者たらしめたりと余
 の知己なる一人は外國人に面會するに因りて偶々一生の
 働きを決定したるを知る或ひは疾病或ひは失敗等屢々神
 の與へ玉ふ所にして能く人をして神旨を洞察熟慮せしむ

然らば活眼を開きて時運を観察する素より肝要ありと雖
 ども亦多年來神の導き玉ひし事物の關係を忘るべからず
 只犬の吼ゆるに由りポルトソンが前途を定むること能
 はず外人に面會するに由つて一生の方向を定むる事能は
 ざるも神は小事を以てその人に適し全智至愛を以て其經
 験中至要の者たらしむるなり、
 然れども吾人は又罪惡の世にあることを記憶せざるべか
 らず苦痛あり失望ある蓋し之れが爲めなり故に第三法に
 加ふるに神意蘊奥にして或は困難の事に導き或ひ
 は抵抗の生ずる働きの導かるとあることあるを以て神
 の求め玉ふは勇敢強健ある大丈夫にして千辛万苦に屈せ
 ず罪惡と戦ひ惡弊を破り人を偏視せず万業を賤蔑せず公

私を論ぜず凡ての職業に徳光を與ふる者あり故に神は或る人を導き時の來るに及んで深く己れの義務を感じ親戚朋友の反對するも厭はず新たに困難ある事業を始むるに至らしむ父はルイテールの理學論理學を好むよりして眞に其子の代言人たらんことを願へり故に父は礮山に働らき母は薪炭を負擔せりルイテールも彼ら我爲めに流汗碎骨せりといへり此慈愛心に感動せられ己れも其望に従ひ大學校に於て法律學を研究せり然れども思はざる小事己れの身に起り或ひは出血して殆んど死なんとせしことあり親友の劇かに死せるとあり大雷雨に會して造物者の大能を思ひ種々様々の事變を遭遇し聖靈の導きにより遂ひにルイテールは神の求め玉ふ所兩親に勝れるを感じ政治法律は

全く廢棄して彼の鴻業に就くに至れりその結果は即ち宗教改革と奉教自由にして万民に祝福を與ふるにあらざや果して神の子をして親に反對せしむるや(路加傳十四章二十六節)大凡人われに來りて父母……を憎むに非れば云々のイエスの御言ばは殘酷不義神の智を知ぬ人には不思議の感覺を與ふれども若し謙遜敬虔と神に全く心服するの精神を表するに於ては難ざる所あるをルイテールの兩親も其子己れの淺見によらず神の導に従ひたるを感謝したりとぞ各國期る兩親たるもの少きにあらざるなり世に成業を奏するに當つて免れざる障害物は或ひは貧にして教育を受くるに困し或ひは身強壯ならずして度々病魔に侵され或ひは之れより甚しき嫉妬猜疑誹謗を忍ばざ

るべからず然れどもかゝる困難に神は眞正の喜樂平和を
その子に與へ給ひ貧賤虛弱誹疑の障害をして高尚優美の
事業に昇進するの階石となし玉へり、

第四法 神吾人を導くに一種特別の方法あり之れ第三法
に含む所と雖ども頗る大切あるがため別項となして論ぜ

ん、
神は己れを信する所の兩親及び眞友の親愛感化力を使用
して吾人を扶助し神の旨を要しむ兩親未だ神を信ぜざ
るに於ては彼れ或ひは青年を召して兩親の意と反するの
事業を探らしむることあるとも漸次神の聖旨と同感同情
となるに至つては彼らの助けを以つて青年に一生の事業
を示さしむ我れわが一子を捧げて宣教師となし神の爲め

に働かしむとは一千七百九十年コンチカット州にわ
るミルス夫人の言にして其子生長して大學に在る時外國
傳道會社を組織せり實に合衆國に於て第一にして今の「ア
メリカン、ポールド」の起原あり斯の如く基督信者たる兩親
の志望は青年の前途を養成する一大勢力といふべし或る
青年はパウロの經驗を一讀して此の如く慥かに天より聲
を聞き爲すべきことを告られんことを願ふと雖ども彼の
歴史を熟讀せば第四法こそ精細確實なりと謂つべし見よ
天よりの聲は只だ「市街に入れ然れば汝爲すべきことを教
えられん」と云ひしのみ何の故に主は自からパウロに万事
を語り玉はざりしや思ふに主は尙ほ智こき方法を備へ熱
心なるナアニアをしてパウロに神の彼に求め玉ふ所を告

げしめ期くてパウロをしてダマスコの信者と親愛の交りに入らしめ前の疑念を解きたり斯くの如く神自から直接に聖旨を告ぐることもなく真友の口より之れを告げ世の友誼をして親密鞏固あらしむ基督教の傳播する所必らず無数の斯る優美の親友ありて以つて青年輩を世に鴻益ある事業に誘引せしむ世に有名なるマサチューセツト州の乾草堆祈禱會の來歴を知らるゝならん殆んど八十年前僅かの大學生徒等乾州の堆積せる所に集りキリストの終りの命令即ち万国に行きて福音を宣べ傳へよとの意に従はんために同心神に祈りたり當時米國新教中外國に傳道せるもの一人もあかりき今や是等數人の勸言忠告に勵まされて宣教師とありたるもの千餘人その結果は數万の信

徒と數十個の學校あるを見る斯の如く基督教者の朋友は青年のため一生の事業を定むるに大なる補助を加ふるものなりキリストは殊に斯る交りを恵まんと約し玉へり曰く「二三人わが名に託りて集れる所には吾も亦その中にあり」と(馬太十八、十九、二十)既に日本に於ても一つの斯る青年の結合あるを識る其共心努力して相計り相祈り相勸むる所日本將來の道德宗教上に大影響を及ぼすべき働きを創むるに至らしめたり青年にして一大目的を以て互ひに團結し神賦の事業を求め且成さんと欲するものは幸福あり彼ら之を探知し之を成就すること疑なければなり説教或は「バイバル」ありて青年の志を感化するあるは蓋し此の理に基くなり神は熱心なる人の話により聖靈心を

感化するにより各々自省して主よ吾に何をなさしめんと
 し玉ふやの意を熟考せしむ「バイバル」は只に人々を悔改
 に導くのみならず信者をして此世にあり神の興へ玉ひし
 事業を知らしむるなり故に斯る時に得たる所の経験は宜
 しく常に記憶すべしヤコブが夢に天使の天より昇降する
 を見たるが如く斯る経験は多くの人をして此れ實に神の
 堂なり天の門なりと云はしむべし、
 神は斯く人の言を働かしめ玉へば基督教の説教者たる者
 宜しく青年信徒に向つて勸告するの權あり諸君は普通教
 育あり言論の能あり理史學を研究するを好み又祈禱す
 るの熱心あり公衆の爲めに働くの望を抱き衆生を罪惡よ
 り救ひ光と生命の道に導かんと志すものなり諸君は如何

にして神の鴻恩を感謝せんとするや神に感謝の生涯を送
 らんには法律家官吏醫者たるの志を變じて基督教真理の
 證據人となるに過るはなし汝萬國に行きて福音を説けど
 キリストの終りの命を成就せんために働きを得る喜樂に
 愈れるものあらんや此の如き勸めに由り數々青年をし
 て生涯キリストの爲め有益なる働きをなし身を犠牲とな
 すに至らしむ現今全教會中殆ど五千人の青年ありわが日
 本三千八百有餘万の兄弟をして生命の道なるキリストに
 導くの急務鴻業あるを見るに當つて余は深く信じ切に思
 ふ神斯く青年を召玉ひしは他なしその多分は心に生ける
 主を見主の榮光と慈愛に感じて深く心裡内に主よ吾れに
 何をなさしめんとし玉ふやと自問自答せしむるにあり嗚

呼愛する青年諸君よ深く茲に考ふる所あれ、

生涯の事業を撰ぶ事終

明治廿二年三月十五日 反響第九號登載

全全全 五月十日 全第十一號登載

編輯人

松崎連

日本橋區綱売町壹丁目四番地

發行兼印刷人

江藤義資

京橋區三十間堀二丁目一番地

印刷所

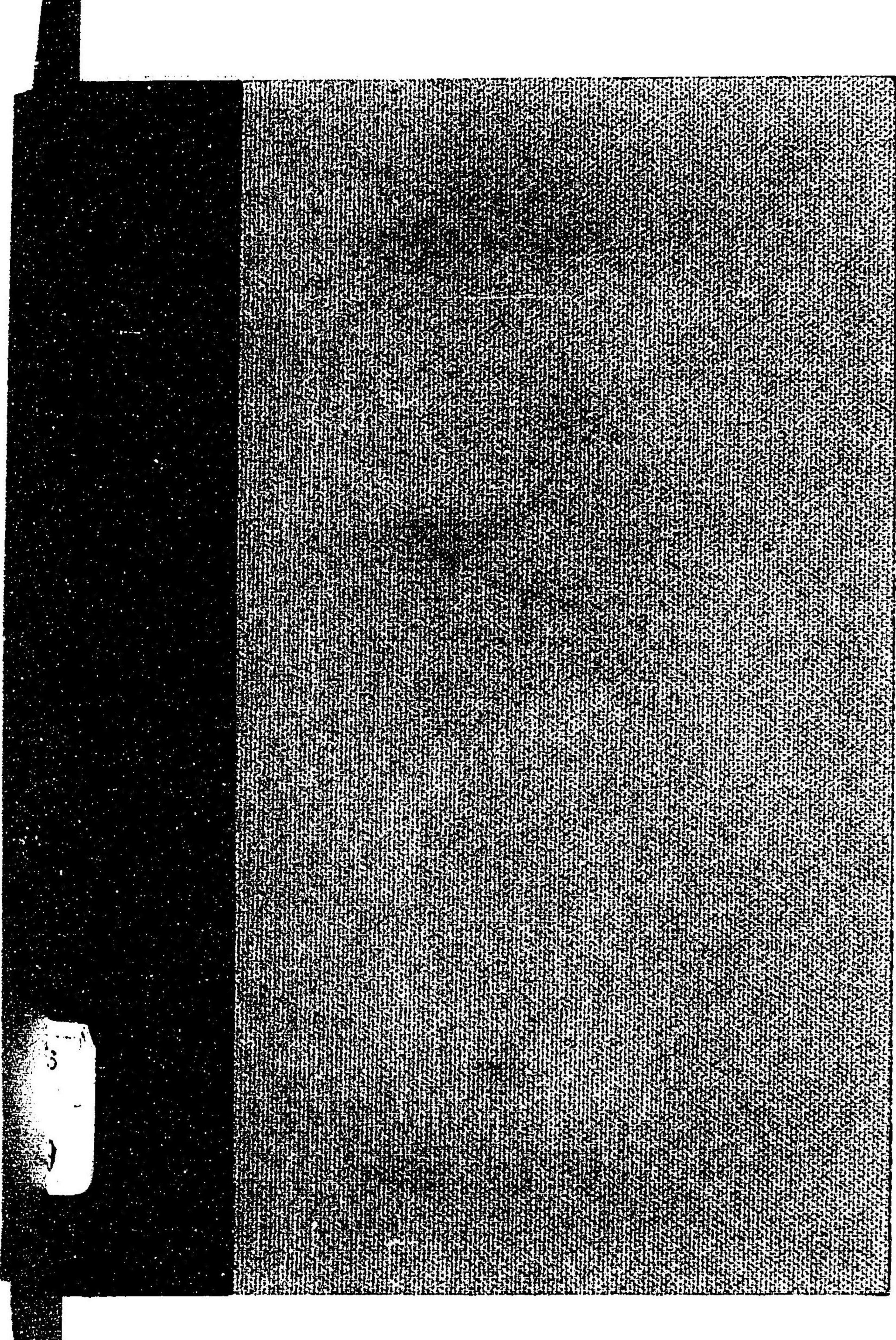
秀英舍

京橋區西紺屋町廿六七番地

發行所

江藤書店

京橋區三十間堀二丁目一番地



3